



2011年5月11日

報道関係各位

日本コロムビア、2011年3月期通期連結業績のお知らせ

日本コロムビア株式会社(以下、「当社」、本社:東京都港区、代表取締役社長兼最高執行責任者(COO):原 康晴)は本日、2011年3月期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)の連結業績が確定しましたのでお知らせいたします。

【2011年3月期通期連結業績】

1. 売上高について

通期連結売上高は164億4千6百万円(前年度に比べ9.3%減)となりました。これは主に、J-POP 作品を中心とする配信の売上は増加いたしましたが、市販の大型作品が前年度を下回ったことに加え、製造販売受託事業およびクリエイティヴ・コア株式会社の売上が減少したことによるものです。

2. 損益について

損益につきましては、利益率の高い配信売上の増加、経費削減による売上総利益率の改善や、販売費の削減、給与、報酬など一般管理費の削減努力を継続したこと、また、年金制度変更に伴う退職給付費用の減少が寄与し、営業利益は8億8千2百万円(前年度は3億3千7百万円)となりました。また、営業外収益で未払印税整理益を計上したことにより、経常利益は9億8千9百万円(前年度は3億1百万円)となりました。

特別損益といたしましては、新株予約権戻入益3千5百万円、100周年記念費用3千7百万円、災害関連損失5千万円、および関係会社株式売却損9千万円などを計上いたしました。この結果、当期純利益は8億7千6百万円(前年度は5億6千9百万円)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。なお、2010年3月期まではミュージック制作事業の単一セグメントでしたが、第1四半期連結会計期間から市販/配信事業、特販/通販事業およびその他にセグメント区分を変更しております。

<市販/配信事業>

教育作品、ジャズ・クラシック作品、ゲーム作品の売上は増加し、また配信も好調でありましたが、大型作品はJ-POPを中心に減少したため、事業合計では売上高は減少しております。この結果、売上高は、109億3千万円(前年度に比べ11.3%減)、営業利益は14億5千6百万円(前年度は14億2千6百万円)となりました。



2011年5月11日

<特販/通販事業>

“ひばりカバーソングコレクション”、“演歌の花道”、“鮫島有美子がうたう 日本のうた・世界のうた100”などの通販会社向けの作品が順調に売上を伸ばし、加えて法人向音源許諾収入等が好調に推移いたしました。この結果、売上高は、23億8千2百万円(前年度に比べ1.4%増)、営業利益は10億9千3百万円(前年度は9億1千9百万円)となり、増収増益となりました。

<その他>

製造販売受託事業およびクリエイティヴ・コア株式会社の売上が減少したことにより、売上高は31億3千4百万円(前年度に比べ9.5%減)となりましたが、経費削減による売上総利益率の改善などにより営業利益は5億5千8百万円(前年度は5億4千3百万円)となりました。

音楽ソフト業界は、市場の縮小が続いており、依然として厳しい状況ではありますが、当社グループは、不採算事業を整理し、利益を安定的に計上できる体質にすることを最大の経営課題にしており、得意分野、成長分野への経営資源の集中、人員規模の適正化および経費削減などの施策を実施しております。この一環として当社は、2011年3月31日付にて当社連結子会社であるクリエイティヴ・コア株式会社の全株式を譲渡(売却)いたしました。音楽、映像関連業界の厳しい環境下において、当社の中核である音楽制作を中心とした事業に今後も継続して経営資源を集中することにより、さらに事業効率を高めてまいります。

また、フェイス・グループの一員として戦略的パートナーシップを構築していくことにより、様々な音楽関連サービスを充実させ、グループ間の事業シナジーの実現に向けた取り組みを引き続き積極的に進めてまいります。

【2012年3月期通期連結業績予想】

次期の連結業績見通しにつきましては、上記の経営改善、固定費の削減効果が業績に好影響を及ぼすものの、音楽ソフト産業の市場規模は依然として縮小傾向にあり、加えて東日本大震災に起因する需要の落ち込みなども懸念され、収益環境は当面厳しい状況が予想されます。また、今期に売却した子会社が除外される影響も有ることから、連結売上高は150億円を予想しており、利益につきましては、営業利益3億5千万円、経常利益3億5千万円、当期純利益3億円を予想しております。



2011年5月11日

【売上高の貢献主要作品】

<市販／配信事業>

■ 音楽ソフト

- “氷川きよし 演歌名曲コレクション 12～三味線旅がらす～”、
“氷川きよし 演歌名曲コレクション 13～虹色のバイヨン～”、
“三味線旅がらす”、“虹色のバイヨン”、“あの娘と野菊と渡し舟” 「氷川きよし」
“北の港駅”、“冬の日本海” 「田川寿美」
“おんな七厘・神楽坂” 「出光仁美」
“新宿たずね人” 「多岐川舞子」
“もどり橋” 「大石まどか」
“はぐれ舟／惚れたよ” 「大川栄策」
“5years”、“Ring a Ding Dong”、“A winter fairy is melting a snowman” 「木村カエラ」
“心の羽根” 「チームドラゴン from AKB48」
“週末 Not yet” 「Not yet」
“ずうっと一緒”、“起承転結 12” 「松山千春」
“毛皮のマリーズ”、“ティン・パン・アレイ” 「毛皮のマリーズ」
“2010” 「clammbon」
“ナクナイ” 「たむらぱん」
“THE IDOLM@STER”シリーズ
“天装戦隊ゴセイジャー”シリーズ
“海賊戦隊ゴーカイジャー”シリーズ

■ 映像ソフト

- “氷川きよし・スペシャルコンサート 2009 きよしこの夜 Vol.9”、
“きよしこの夜・きよしこの味セレクション” 「氷川きよし」
“東京厚生年金会館ファイナル ファイナリスト松山千春” 「松山千春」
“みいつけた！オース！”
“いないいないばあっ！” シリーズ

■ 音楽配信

- “Ring a Ding Dong”、“Butterfly”、“A winter fairy is melting a snowman”、
“deep beep”、“You bet!!” 「木村カエラ」
“心の羽根” 「チームドラゴン from AKB48」
“ハナミズキ” 「一青窈」

■ ゲームソフト

- ニンテンドーDS ソフト “きれいずきん生活”、“わんニャンどうぶつ病院”、“ミスタードーナツ DS”



2011年5月11日

<特販／通販事業>

“演歌の花道”

“鮫島有美子がうたう 日本のうた・世界のうた 100”

“美空ひばり トレジャーズ”、“ひばりカバーソング コレクション”

<その他>

■ 製造販売受託

株式会社よしもとアール・アンド・シー様

“2 Girls”

「YU-A」

“上京物語”、“愛の唄”、“2010 FIRST TOUR 上京物語”

「新選組リアン」

エースハイレコーズ様

“THE LABORATORY”

「NITRO MICROPHONE UNDERGROUND」

■会社概要

会社名 : 日本コロムビア株式会社

所在地 : 東京都港区虎ノ門 4-1-40 江戸見坂森ビル

代表者 : 代表取締役社長 兼 COO 原 康晴

事業内容: ミュージックソフト・ゲームソフト等の制作、宣伝、販売および音楽アーティストのマネジメント

資本金 : 1,000 百万円

URL: <http://columbia.jp>

■本件についてのお問合せ先

日本コロムビア株式会社

財務本部 鈴木千佳代

TEL: 03-6895-9870 FAX: 03-6895-9116

email: suzuki_chikayo@columbia.co.jp

※2010年10月1日に創立100周年を迎え、社名を日本コロムビア株式会社に戻しました。